

教育目標	「学園は、教える者と教えられる者が、相互の信頼によって相互に生かされる精神的な共同体」という理念の下、知・徳・体を錬成し、調和ある人間像を確立する。								
経営方針	「自律的な精神」、「思考力と創造的な知性と技量」「自然愛や人間愛を大切にす豊かな情操」を培う。また、日本人としての美德を育て、実践的な社会性を養うとともに、国際化・情報化社会のフロントランナーとして、社会貢献できるフェアなリーダーとしての資質を培う。								
本年度重点目標	I 学習指導の充実		II 進路指導の充実		III 心豊かでさわやかな生徒の育成		自己評価	学校関係者評価	
重点目標	IV 広報・渉外活動の充実		V 教育施設・設備の活用		評価	教員からのコメント（評価理由・意見感想・改善点）（70名）		評価	学校関係者評価委員のコメント（8名）
I 学習指導の充実	授業改善への取り組み	平成 30 年度具体的な方策または評価項目を評価する具体的な指標 【 】は数値的目標	平成 29 年度実施結果（成果は○、改善すべき事項は◇）※丸数字は左欄丸数字の項目に対応	A 18.6 %  B 57.2 %  C 18.6 %  D 0.6 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科会議を通して全クラスの学力の把握ができた</li> <li>・数学科森先生の教科指導は大きな効果があると思う</li> <li>・万全ではないが努力はなされている</li> <li>・様々な取り組みもなされていて、授業改善に向けて教員同士対話もなされている</li> <li>・選抜されたクラス以外はクラス内での学力差・学習姿勢差は大きい。その差を各担当が工夫して、改善しようとしている</li> <li>・「各教員間の指導格差を改善し」という点ですが、ベテランの先生方の研究授業の実施で、大変勉強になった。また、縦の繋がりを意識することができた</li> <li>・教科会議が日常的に行われるようになって、円滑な意見交換ができていように思う</li> <li>・研究授業をととして指導の共有化が図られた</li> <li>・教科会議の時間を確保できていることはありがたい</li> <li>・教科内で普通科のことに話題が出てくるようになった</li> <li>・普通科・英数科の両方の授業を担当するようになったことで本校の授業に対する意識に変化が出てきたと思う。難関大学への進学向けの授業と生徒指導能力を必要とする授業、どちらも必要である</li> <li>・普通科と英数科では最終的にどうやって、何を生かして、次のステージにつなげていくかといった方法が異なるので指導法に違いがあるのはおかしなことではない</li> <li>・英数科は英数科の教員、普通科は普通科は普通科の教員と考えている教員もいることも事実</li> <li>・ベテラン教員の授業を若手教員が見学・研究する機会をより増やしたい</li> <li>・普通科生徒の学力向上のため、授業改善に取り組んだが、もう一工夫が必要</li> <li>・指導の格差もあるが、普通科・英数科ともに生徒間の学力差が大きくなっていることも要因。共通の指導というのは極めて難しいのではないかと</li> <li>・多忙な先生方が多いなかで申し訳ないが、授業の進め方やポイントについて担当ごとに話し合う場が必要だと考えている</li> <li>・②については自分自身が教科・生徒指導の指導力不足を実感している</li> <li>・研究授業が実施されていない（英語科）。ベテランの先生方の授業を見学させていただき、自身の授業力向上に努めたい</li> <li>・教員間の指導格差がある ・会議や研究授業があまり行われていない</li> <li>・各教科において授業力の差を感じる ・普通科担当になって、英数科の状況がほとんど分からない</li> <li>・普通科・英数科の間で学習指導内容を完全に共有化することには無理がある。それ以上に普通科において学習に対する意識の向上やモチベーションの高揚・維持のためにはどうしたらよいか検討すべきである</li> <li>・前期中に研究授業が行われていない教科が複数ある</li> <li>・生徒の学習意欲、授業満足度は個人差が大きく、特に普通科の生徒には学校に対する帰属意識が低い者も多い</li> <li>・教科会議は開かれているが、内容はあまり深くなっておらず、指導内容・計画の共有化は不十分である</li> <li>・研究授業後に短時間でも教科会議が必要である</li> <li>・普通科と英数科の格差、教員間の指導格差等、教員間の連携や意識の統一を更に深めたい</li> <li>・どのコースの生徒にも学習意欲が高まるような授業を模索した</li> <li>・「根気強い指導」を続けていくことは正直大変ではあるが、本校に入学した生徒である。しっかりと指導していきたい</li> <li>・3年間を見通し、年次ごとに目標を立てて指導していきたい</li> <li>・クラスに合った指導をこころがけているが、説明が足りないことや全体を見渡せていないことがある。授業力を上げるために教科の予習の時間をしっかり取っていききたい</li> </ul>	A 12.5 %  B 87.5 %  C   D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートによって生徒の意見を授業改善につなげている点はとても評価できる。どのようなアンケートを行っているか、どのような結果だったのか添付いただきたいと思った</li> <li>・問題解決のため、様々なアプローチをされていると思います</li> <li>・生徒の授業満足度の比率95%はすばらしい。生徒と先生の信頼関係のあらわれです</li> <li>・生徒が授業に対して満足しているという回答の非常に高いところが評価できる</li> <li>・高校1年の頃より、なぜ学習をするのか、だれのための学習なのかを生徒に考える機会があればと思います。4月の2泊3日の集団研修等学校生活に慣れるための早い段階でそのような機会があればいいと感じます。親元もしくは、いつもの生活拠点を離れていますから、考える良い機会だと思います。意識が変われば行動も変わるのではないのでしょうか</li> <li>・地区懇談会において、捨て教科も大切一教養となるのお話がありました。生涯学習を言われている現在、この辺りを高校時代に身につけておくことと将来につながると感じます（ 停滞は衰退、 継続は力なり ）</li> <li>・英数科、普通科ともに学習意欲を高めるためのアプローチは共有化できるのではないのでしょうか。カリキュラム、また受験対策は異なるのでそれぞれの科の特徴が良い方向に改善、進化していったらと思います</li> <li>・保護者にもアンケートを実施することで CS 向上へのヒントにつながり、サスティナビリティ経営の基盤になると感じる</li> <li>・多くの課題が上がっているようですが、一つひとつ確実に充実させることが必ず生徒の力となると思います</li> <li>・先生方の意識も高いと思いますが、国語に苦手意識を持っている生徒が多いと聞きました。宿題も出ているように思えませんが、改善策はあるのでしょうか？</li> <li>・生徒の中にも普通とか英数とか差別的に考えているところがあると思う。先生の指導にも言葉にも、普通科は…、とか英数科は…、といったことが多いのでは</li> <li>・ICT や AL 型授業の導入もあるが、まず、基礎力と人間としての力を身につけさせることが大切だと思う。補助的なものとして ICT や AL 型授業を活用するのがよいと思う</li> </ul>		

	<p>学力の定着と向上に向けたきめ細かな指導</p> <p>①放課後プロジェクトや「9時まで学習」の一層の活性化を図る 【9時まで学習参加率 60%】</p> <p>②予習、復習、宿題の提出・点検指導等の徹底を図る 【復習テスト年5回実施】</p> <p>③英語検定指導等を継続して組織的に行う 【英検2級220名以上、準1級20名以上】</p> <p>④学力の基礎である国語力(文章読解や表現力)の向上のための取り組みを行う 【論理エンジンの有効活用・指導】</p> <p>⑤国際教養教育を推進する</p> <p>⑥普通科生徒の学力・学習意識向上のための指導を策定する</p> <p>⑦大学入試共通テストに向けて論述問題や英語4技能に対応した問題を定期テストに導入する</p>	<p>①〇図書室における放課後プロジェクトの参加は前年並みであった(ここ数年やや低調)。 ○職員室及び職員室前フロアで、積極的に個別指導を受ける生徒は増加した。 ○「9時まで学習」の参加率は、昨年度の54%に対し63%と増加し、積極的な参加が見られた。</p> <p>②〇各教科・各学年において、きめ細かな指導が実践された。各教科では、同学年の各科・各コースの担当者間での連携が取れていた。今後『明誠ダイアリー』を利用しながら学習習慣の確立のさらなる強化を図りたい。 ◇主要教科において、各学年を縦断しての指導方針がまだ確立されていない。</p> <p>③〇【英検2級既取得者数223名、準1級既取得者数16名】英検準1級既取得者数は目標値に達しなかったが、本校過去最高記録となった。またGTECも実施しており、これらの取り組みにより英語の学力が向上した。</p> <p>④〇論理エンジンによる指導が実施されているが、引き続き国語力向上に努めたい。</p> <p>⑤〇ドリーム・ゲイトウェイ・プログラムや国外からの教育訪問団との交流により、グローバルな視点を持った発信力が涵養された。</p> <p>⑥〇H30年度より実験的に土曜日を利用した教科横断型の授業を3年総合コースで実施することとなったが、引き続きこの検証を行って指導法を工夫する必要がある。</p> <p>⑦〇国語科において論理的構成を必要とする論述を定期テストで出題するようにしたが、まだ完全実施には至っていない。</p>	<p>A 28.6 % <b>B</b> 62.8 % C 4.3 % D 4.3 %</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9時まで学習は生徒の学習サイクル・意欲を高める良いものだと思う</li> <li>・学年団内でのコミュニケーションはよく取れており、情報の共有化と連携は徐々に良くなってきている。</li> <li>・英語においては普通科の生徒も力が身につけていると思う。小テストや英検の勉強が効果的だと思う</li> <li>・9時まで学習の成果が進路実績に結びついている ・十分だと思う</li> <li>・9時まで学習では良い雰囲気の中で生徒が学習に取り組んでいる</li> <li>・放課後プロジェクトや9時まで学習について、学習意欲の高い生徒はとても積極的に参加している</li> <li>・英検指導について、英語科職員・生徒とも積極的に取り組んでいる</li> <li>・留学生やALTの存在により、生徒は国際的なことに関心を持っている</li> <li>・復習テストの定着ができています</li> <li>・英検指導もしっかりと行っている</li> <li>・全体的に国語力の低い生徒の増加は社会現象のようにも思える。論理エンジンの活用、天声人語のまとめなど、工夫して対応している</li> <li>・明誠ダイアリーはPDCAサイクルの確立や生徒理解(コミュニケーションツールとしても)により活用したい</li> <li>・学力の定着にはスタッフの充実が必要であるが、現状では不足気味である。特に、理科は専門となる科目の片寄がある</li> <li>・形だけにならないように注意したい ・それぞれの取り組みの継続が結果を出すことに繋がると思う</li> <li>・朝テストの実施方法、処理の仕方にもう一工夫ほしい</li> <li>・英検準2級で終わってしまう生徒が多い。2級も目指すように指導してほしい</li> <li>・学年全体に普通科の学力を高めようとする意識も具体的な行動もない</li> <li>・復習テストの実施が不十分である</li> <li>・論理エンジンによる指導が行われているが、&lt;有効活用&gt;とまでは言いがたい</li> <li>・課題の量や質については各学年・教科によって差がある</li> <li>・論理エンジンは教材としては有効であるが、活用方法については改善の余地があると思う</li> <li>・土曜日に部活動に参加する生徒が多く、土曜授業は有効に行われていない</li> <li>・教科・学年だけでなく、全体で考えていく必要性を感じる</li> <li>・論理エンジンのレベルが簡単で、本当に身につけているか疑問がある</li> <li>・国際的な教養を学ぶ前に、まずは母国語である日本語をしっかり学んだ方がいいのではないかと</li> <li>・論理エンジンは約10年前の発行以来ほとんど内容が改定されていない。昨今のICT化についての話題が全くない。価格も高いし、こういった内容なら他にももっと相応しい教材はいくらでもある</li> <li>・明誠ダイアリーを使用して成果が目に見えるようにしていきたい。そのために授業への積極的な参加を促し、週ごとの課題・復習などで学習状況を測りたい</li> </ul>	<p>A 25.0 % <b>B</b> 62.5 % C 12.5 % D</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「9時まで学習」が充実している。他校にはない明誠の力となっている</li> <li>・英検指導をはじめ大変きめ細やかな指導に力を入れていると思う</li> <li>・「9時まで学習」が順調にいき、このまま良い結果につながることを期待します</li> <li>・放課後プロジェクト、「9時まで学習」等で個々の事情に合わせた柔軟な対応をいただいている</li> <li>・国際教養コースにおいて1年次地域課題解決プログラムは地域創生、地域活性化のためによいプログラムだと感じている</li> <li>・卒業生の合格体験記の中で、数名の卒業生が明誠ダイアリーを上手に活用していたことを述べていました。生徒には先輩からのアドバイスを有効活用してもらいたいです</li> <li>・地区懇談会や学年集会において隙間時間の活用が述べられています。生徒一人ひとりの学力の定着のために必要なことだと感じております</li> <li>・時代の進化が著しいですが、その中でも基礎学力の定着はとても重要なものだと思います。個々の進捗状況等により指導アプローチは異なると思いますが、定着するように指導していただくようお願いいたします</li> <li>・今まで以上に国語力も英語力も進学先で求められていくと今夏個人的に大学オープンキャンパスに参加し強く感じました。国語力UPに向けて引き続き対策していただけたらと思います</li> <li>・英検は2級を基準に考えてほしい</li> <li>・「9時まで学習」の参加率が向上すればもっと良いですね</li> <li>・全体的に満足のいく教育内容だと思います。ただ、宿題の出し方について数学の量が多く、他教科の勉強時間が取れないように感じます。また、苦手教科に取り組む余裕がないように思います</li> <li>・PDCAサイクルを身につけさせることが大切だと思う</li> <li>・内部の教員の資質向上を図るとともに、外部から力量の高い教員の招聘も検討したらどうか</li> </ul>
--	---	---	---	--	--

<p>Ⅱ 進路指導の充実</p>	<p>進路希望の達成に向けたきめ細かな指導</p>	<p>①進路講話や個別面談、総合的な学習等(キャリア教育の推進を含む)により目標設定と進路意識の早期確立を図る ②教員の教科・進路指導の力量向上を図る ③教科検討会で模擬試験結果の検討を行い、生徒各個人に対応した指導を行う【年2回実施】 ④生徒の満足度の高い進路指導を行い、大学への現役合格達成を図る【現役合格95%】</p>	<p>①〇1 学年は、文理選択の「夢ナビシート」・進路課と外部講師による進路ガイダンス(文理選択と大学選択について)・「学部・学科レポート」による学問分野研究、2 学年は、学部学科説明会(大学職員による15 学部・学科)・進路課と3 学年担任による進路ガイダンス(センター試験と3 年生の受験成果について)、3 年生は大学説明会(大学職員による25 大学)を実施し、進路意識の高揚を図った。 ②〇夏季の駿台研修には、若手を中心に昨年の倍となる12 人の職員が参加し、教科・進路指導力の向上に向け、研鑽に努めた。今後は研修内容の校内への還元を図る機会を増やしたい。 ◇経験があり指導力のある教員の指導方法・ノウハウの共有化を図るためにも、各教科で授業研究の回数をより増やしたい。また、『明誠ダイアリー』を活用したPDCAサイクルの確立が、学力伸長と進路実現につながることを職員の共通認識としたい。 ③〇外部模試後の分析・検証を受けての、教科全体のアクションの部分が弱いように感じられた。 ④〇大学現役合格率は93.4% (241 人) で目標の95%をやや下回った。4 年制大学志望者の大学入学率は86% (221 人) で、浪人が14% (36 人) であったことが残念であった。</p>	<p>A 27.1 % <b>B</b> 57.2 % C 11.4 % D 4.3 %</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明誠ダイアリーは生徒個人の状態を知ることができる良い素材だと思う</li> <li>・①の活用は進路を自発的に考える機会につながって良いと思う</li> <li>・2 年生のうちから大学の説明を聞いたり、オープンキャンパスに行くことで実感し、モチベーションを高めることができている</li> <li>・よくできている</li> <li>・夏季の駿台研修に参加し、教科・進路指導の向上を図った</li> <li>・学校全体でサポートできている</li> <li>・夏季休業中の研修に参加させていただき、有意義なものとなった。進路指導のノウハウを共有する機会が更に増える</li> <li>・共通意識を持った指導が実現できると思う</li> <li>・進路課での指導以外にも教科担当、担任と進路の話をする機会が増えている</li> <li>・教員が多様な入試制度システムの勉強をしている</li> <li>・進路ガイダンスの機会をより作りたい</li> <li>・教科指導・進路指導ともに情報共有の場を作るべきだと感じている</li> <li>・1・2 年次における進路への関心の低さがあると感じる</li> <li>・指導力のある中堅以上の教員の指導方法を共有できる機会を増やしたい</li> <li>・土曜日の総合学習にゆとりがなく、学年主導の企画ができにくくなっている</li> <li>・「明誠ダイアリー」の活用が教員によってまちまちであり、記入内容の確認やアドバイスの記入が行われない学級もある</li> <li>・外部模試による弱点分析が不十分である</li> <li>・機会や資料は与えているが、中身や方法論について生徒任せになってしまっている</li> <li>・教科内での模試についての検討会は今のところない</li> <li>・担任の個人面談に対する意識に差があると思う。年2 回の生徒との二者面談の形骸化、夏の三者面談の実施状況には問題があると思う。3 年生の進路面談はやって当然だが、日程、個人理解度等検討の必要がある。運営会議でも個をしっかりと理解して指導し、伸ばすことが毎回話題になっている。面談スキルもどうなのか？</li> <li>・文理選択の話が具体的になされていない</li> <li>・①について、まずは教科書をちゃんと学ばせなくてはならない</li> <li>・③について、模試結果について教科会でのアクションが弱いと思う</li> <li>・④について、現役合格率は今の時代なら100%を狙えるはず。担任による親や生徒への面談や指導にかかっている。大学入学率86%、つまり14% (36 人) は志望校でなかったから浪人するのだと思う。やはり残念な結果だと思う</li> </ul>	<p>A 25.0 % <b>B</b> 62.5 % C 12.5 % D</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6 月に開催された地区懇談会において、受験期の過ごし方(家庭も含めて)を色々とお話くださったことで、受験に向けて子供、学校だけではなく保護者の在り方も非常に大切なことであると参加した保護者が感じる事ができました</li> <li>・進路指導が充実され、目標設定と意識が早い段階から高められていると思います</li> <li>・部活に重きをおいている生徒の中には、部活を引退してから進路に向けて頑張ると考えている生徒もいると思います。もっと、はやい段階で自分の将来に向き合えるような環境づくりが必要だと感じます。(進路ガイダンスが高校1 年より実施されています。生徒がなんとなく参加するのではなく、自分自身の将来について大切なこととして捉えられるようになっていってくれたらと感じます。これには学校・生徒・保護者が一体となる必要があると思います)</li> <li>・素直になるPDCA サイクルを回すことができるようになることは、受験期において耐えるための力になると感じます</li> <li>・推薦、AO 入試合格を早くに決めた生徒には合格はゴールではないので、残りの明誠生活を進学先で良いスタートをきれるために大切に過ごして欲しいと感じております</li> <li>・もう少し進路について保護者とも話をしてほしい</li> <li>・充実した活動がある中、課題クリアに対して先生方にさらなる期待をしたい</li> <li>・現役合格の向上に向け、一層の努力をお願いしたい</li> <li>・多様化する入試制度で生徒たちも自分は何の選択がよいのかぎりぎりまで迷っているような気がします。親も以前にはない入試制度も多いので、学校で説明会があると助かります</li> <li>・保護者が入試制度を理解できるような機会・ガイダンスをしていただきたい</li> <li>・生徒が説明を受けている内容を保護者に伝えていないのではないかと</li> <li>・「建学の軌跡」の内容を学年通信・学級通信等に載せて、さらに周知させてはどうか</li> </ul>
----------------------	---------------------------	---	--	---	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">難関大学等の合格に向けた指導</p>	<p>①国公立大学及び難関・中堅私立大学に合格できるような学習・進路指導を推進する</p> <p><b>【第3学年 進路目標】</b></p> <p>東大・京大・国公立大医学部→8名以上、旧帝大→10名以上、国公立大→75名以上、静大・静岡県大・静岡文芸大→40名以上、早大・慶大→10名以上、GMARCH・東京理科・関関同立→70名以上合格 ※県内特に静大・静岡県立大の合格者数を伸ばす。</p> <p>②東大・京大等の入試問題研究を行い、合格へ向けての効果的な指導を研究する</p> <p>③新大学入試制度に向けての研究と対策を行う</p> <p>④実力養成のための授業力強化及び個別指導を充実させる。</p> <p>⑤高3 センター試験後の二次対策講座の実施方法を改善し、受験計画完投の指導法を確立する</p>	<p>①〇一般合格は難しいと考えられた生徒が、国公立大学A0・推薦入試に挑戦し、見事合格を果たしたケースが目立った（国立9、公立10）。国公立では定員の3割をこの形式の入試で確保することになるため（後期はより減少）、労多く危険も伴う入試であるが、担任・学年団の熱心な指導の成果であった。一方、大規模私立大学では定員の1.1倍問題からAO・推薦・一般入試にいたるまで合格者の絞り込みが行われ、中堅私立大学で苦戦するケースもあったが、難関校であるGMARCH・東京理科・関関同立は、前年44より57と合格数を増やした。</p> <p>○現役合格 国公立大学 → 東京1名、名古屋1名、大阪1名（旧帝大計3名）、静岡14名、静岡県立5名、国公立大学計48名合格。難関私立大学 → 早稲田2名、明治8名、青山学院4名、中央8名、法政7名、東京理科5名、学習院2名、関西6名、関西学院3名、同志社1名、立命館9名 計57名</p> <p>②〇最難関大学に挑戦する学力トップ層への指導については、ベテラン職員に固定されている感がある。中堅・若手職員の受験指導の研修の回数を増やすべきであった。</p> <p>③〇外部研修に積極的に参加する職員も多いが、校内研修をより充実する必要がある。</p> <p>④〇各教科で放課後に入試対策として個別指導を行って頂き効果があった。</p> <p>⑤二次対策講座は、前年より回数を増やすことができたが、取得率は前年並み（65%→67%）であった。学校から逃さない、引き付ける求心力にこだわり期間も延長したい。</p>	<p>A 28.6 % <b>B</b> 51.4 % C 11.4 % D 9.6 %</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベテランの先生方の研究授業に参加させていただき、また、直接アイデアやポイントをうかがう機会をいただいたことは大変刺激的で良かったと思う</li> <li>・実力養成のための模試対策を実施し、生徒も力をつけようと努力している ・個別指導を熱心行う教員が多い</li> <li>・新入試制度の対策や強化の研修を今まで以上に行っている</li> <li>・センター試験への意識付けを高2の段階で行うようにしている</li> <li>・中間評価のため評価が難しいが、受験に向けて進路課から提供される情報をもとに対策が取られ、具体的な活動が見られる</li> <li>・入試問題を解くための3年間の学習習慣の重要性を実感するためには教員が大学入試問題に精通する必要がある</li> <li>・生徒・保護者とも学校に依存する傾向が強くなっているが、逆に大学受験に対する危機感は薄い。自立心を培う指導が必要だと思う</li> <li>・ベテラン教員に頼りすぎていると思う。教科の研修や大学入試センター試験の問題を解くなど、まずはできることをやっていきたい</li> <li>・二次対策講座は1月中に始めた方が人数も多く集まると思う。2月の高校入試が終わった後では時機を失うと思う</li> <li>・生徒個々によって」受験大学が異なるので、一斉指導よりも、個人指導の方が効果的だと思う</li> <li>・3年生、1～3月半ばまでの指導を進路・学年・教科で共通認識をもって臨みたい</li> <li>・放課後の学習に対する様々な活動をもう少し増やしてもいいかもしれない</li> <li>・推薦入試に力を入れるのが良い</li> <li>・受験学部に応じて最初から教科ごとに分担を決めて指導するのが望ましい</li> <li>・保護者の価値観の変化に伴い、「国立へ」という一辺倒な指導は難しくなったと感じる</li> <li>・新制度に向けて不安が多い</li> <li>・新入試の研究と対策はまだ不十分である。教員個々の意識を変える必要性を感じる</li> <li>・普通科ではクラス内で学力差が大きく、学力の高い生徒が持て余してしまうケースがある</li> <li>・スタンドプレーのように指導している教員もいるが、教科全体の指導力を高めたい</li> <li>・国公立大学を増やしていくのか、首都圏の私大を増やしていくのか。地域のニーズを受け止めて、明確な方向性を示してほしい</li> <li>・難関大学の指導もできることを強く望んでいる。あるいは、そういった努力をしている中堅・若手教員があまりいないと思う。意欲を持った教員を大切に育てていく必要がある</li> <li>・難関大学に挑戦する生徒を指導できるように全の教員がそのレベルまで達する必要がある。そのため研修が必要だが、校外の研修に参加する場合には様々な制約がある。校内研修を充実させ、自らの力にすることを考える必要がある</li> </ul>	<p>A 25.0 % <b>B</b> 75.0 % C D</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大変熱心に指導されている先生方に感謝です</li> <li>・先生方の熱心なご指導が、生徒の進路目標のためのメンタル面も支えていただいていると思います</li> <li>・学校・生徒・保護者が一体となり、チーム明誠として取り組んでいけたらよりよい教育環境になっていくと思います。どの社会においてもそれぞれの担う役割があり、その役割をこなしていくことがチーム力の向上につながると思います</li> <li>・生徒も保護者も学校より提供された情報を有効に活用していくこと、その情報からさらに必要な情報を自ら入手していくことも大切だと思います</li> <li>・大学選択は生徒の人生の中でも大きなイベントです。世の中は流動的で、各家庭の奨学金申請の件、また諸事情も異なりますから広い視野を持ち、選択していくことが必要と感じます</li> <li>・一つひとつの指導研究が生徒の力へと変わっていくと思う</li> <li>・難関大学合格に向けての指導のために教職員のレベルアップが必要だと思う</li> <li>・自分の将来やりたいこと、どんな仕事に就きたいかを高校のうちから考えて、大学を選ばないと、就活ルール廃止により就活の超早期化に対応しにくい部分が出てくるのではないと思う</li> <li>・教員のレベルアップの必要性を校内の共通認識として強く持ってほしい</li> <li>・エビデンスを持って指導にあたることです</li> </ul>
---	--	---	--	--	---

<p>Ⅲ 心豊かでさわやかな生徒の育成</p>	<p>社会性や道徳心の育成</p>	<p>①礼節を重視し、様々な場面で、マナーや社会的規範意識を育成する。正門一礼や予鈴黙想の励行なども継続して指導する ②校内外の美化や教室等の整理整頓に対する指導の徹底を図る ③交通マナーの指導を強化し、地域住民の苦情をなくすとともに交通事故防止を図る【交通事故 10 件以内】 ④徳育を強化し、思いやりの心を育成するとともに問題行動の発生を防止する ⑤生徒の様子を観察、生徒面談、いじめ調査等を活用して、いじめ行為防止に取り組む ⑥インターネットなど SNS についての啓蒙を行い、問題発生を防止する【いじめ調査年 3 回実施】 ⑦教員の生徒指導力、クラス経営力向上のための研修（救急救命法、人間関係構築、カウンセリング、コーチング等）の研修を実施する</p>	<p>①〇礼節指導を継続して指導した。挨拶は良好である。 ◇登校時の鞆の違反(無許可のバッグ等)や、商店での振る舞いなど、校外での社会道徳や一般常識の一層の向上が必要である。 ②〇サッカー部、陸上部、バレー部、野球部等の自主的な清掃活動(早朝等)により、校地や学校周辺の環境美化ができた。 ◇HR で清掃活動指導を行ったが、指導しきれない部分もあった。 ③〇交通安全委員による街頭交通指導は交通安全推進に貢献した。 ◇交通マナーについて HR 等で繰り返し指導したが、地域住民から交通マナーに対する苦情が時折寄せられた。 ◇【交通事故 20 件】内 6 件は相手側の過失。ほとんどが軽微な事故であるが、重大事故に繋がらないように注意。 ◇自転車施設点検を実施。施設車率は向上したが、定着しない生徒もあり継続指導が必要。 ④⑤〇いじめ調査は 3 回(7 月、11 月、2 月)実施したが、実施時期を早めたことにより、早期対応ができた。いじめに関する調査、レコーダの活用はいじめの防止に役立った。 ⑥〇SNS によるトラブルは特になし。 ○【いじめ調査年 3 回実施】</p>	<p>A 22.9 % <b>B</b> 61.4 % C 15.7 % D 0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動を中心とした道徳心の定着はできていると思う</li> <li>トラブルに迅速に対応できた</li> <li>校則違反による生徒指導は減っている傾向にある</li> <li>礼節指導が充分実施されている</li> <li>他校に比べて格段によいと思う</li> <li>生徒達の気持ちのいいあいさつができています</li> <li>交通マナーの指導強化、美化指導はできていると思う</li> <li>概ね指導できていると思うが、苦情電話がある以上更なる指導が必要</li> <li>校外における姿勢についてまだまだ影響力は不足している</li> <li>交通マナーに対する危機感が弱い</li> <li>自減型・破滅型といった精神的な問題での生徒指導はなくならず、そのまま退学につながってしまうケースが多い</li> <li>なぜ清掃を行うかが、まだ運動部の生徒であっても理解していない。周りがやっているからではなく、汚れているから掃除するという意識を持たせたい</li> <li>挨拶するのは部活動の生徒だけ。他の生徒もできるようにする必要がある</li> <li>様々な面で礼節が汚れている</li> <li>交通マナーについての指導をさらに徹底したい</li> <li>自転車の交通事故が多かった。残念だ</li> <li>交通マナー意識が低い生徒がまだ多くいると感じる</li> <li>数値目標を設定し、全教員で取り組むべき</li> <li>交通に関する苦情があるが、教員がその事実を自覚し、指導・行動することが重要だと思う</li> <li>形だけにならないようにしたい</li> <li>交通事故の発生件数が減少していない。また、重大事故も発生している</li> <li>学校周辺の清掃については部活動単位で積極的に行われているが、校内について指導し切れていないところが多い</li> <li>正座、挨拶を徹底させているが、形式に留まり、意味などの中身まで指導できていない</li> <li>挨拶は気持ち良くできるが、マナーの悪さや言葉遣いが気になることが多い</li> <li>集団としては良好、個人としては今一歩。部活単位での美化活動は素晴らしいが、下足、トイレ、ロッカーといった個の面ではまだまだレベルが低い</li> <li>昨年度に比べて自転車の未施設が多い。特に上級生。朝練習に参加している生徒、高 3 の生徒の未施設の多さは異常</li> <li>予鈴黙想はできていない</li> <li>SNS のトラブルは増えていくと思うのでクラスなどでの生徒間の関係をしっかり見ていかなければならない</li> </ul>	<p>A 12.5 % <b>B</b> 75.0 % C 12.5 % D</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校へ足を運んだ折に落ち着いた雰囲気が増したと感じました</li> <li>規律正しい生徒が非常に多いように思います。厳しい指導とほめて伸ばす指導の両立ができていますので、学校への信頼が増し、自然と社会の中で自覚ある態度をとるようになっていきたいと思います</li> <li>交通マナーは引き続き現在の指導をお願いいたします</li> <li>社会性、道徳性を身に着けることは大切です。多様化、また変化著しい社会の中で学校のみならず、個々の家庭においても連携して取り組んでいかなければならないと感じております</li> <li>2018 年 06 月 13 日、18 歳成人が参議院本会議で可決し 2022 年 04 月 01 日より施行されることになりました。普段の家庭内での対話を通して学べることもあります。学校と家庭とが連携して取り組んでいければと感じています</li> <li>自転車のマナーが悪すぎる。全てではないが、サッカー部の態度が悪すぎる</li> <li>良い面、悪い面と様々であるが、生徒一人ひとりの意識向上が大事な項目です</li> <li>並進走行注意</li> <li>信号機のない交差点で停止の標識があるのに止まらず、無視して渡る。高校生になるとスピードを出しているので、特に危険です</li> <li>交通マナーについては学校側の指導だけの問題ではないと思いますが、引き続きご指導お願いします</li> <li>行事などの生徒の様子を保護者が見ることは子供理解をする上で大切である。さらなる呼びかけをお願いしたい</li> <li>遠方からの生徒・保護者の要望を聞く機会やフォローアップするシステム等、工夫できないものか</li> </ul>
	<p>基本的な生活習慣の確立</p>	<p>①欠席や遅刻等の減少を図る。インフルエンザについては感染防止対策を徹底する ②正しい身だしなみの指導を徹底する【学年全体風紀指導年 6 回実施】 ③ジャージ・サマーセーター等の着用指導を徹底する ④基本的な生活習慣の指導を職員の共通理解のもとに実施する ⑤校則遵守の徹底を図る</p>	<p>①〇各クラスに手指消毒薬の導入と教室の換気等の徹底により例年より患者の減少が見られた。 ◇遅刻が減少するには至らなかった。 ②〇学年校風指導を学年団の意思統一のもとで 6 回実施した。服装面で大きな乱れもなく、スカート丈についても良好であった。 ○【学年全体校風指導年 6 回実施】 ③〇基本的な生活態度はある程度確立されていた。体育、清掃・作業時以外のジャージ着用は見られない。 ○乙女塾の実施等、女子指導は充実してきた。 ◇さらに職員の指導の共通性を図りたい。 ④〇生徒は校則をおおむね遵守していた。</p>	<p>A 32.9 % <b>B</b> 55.8 % C 10.0 % D 1.3 %</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>頭髪・服装は良好である</li> <li>校則遵守はいつもできていると思う</li> <li>嘗てと比べて、生徒は校則を遵守するようになったと思う</li> <li>遅刻回数はない</li> <li>朝の全職員による校門指導等によって正しい身だしなみの生徒が多い</li> <li>いじめについて表面化している事例はない</li> <li>指導基準が先生によって違うので明確にすべき</li> <li>校風検査のみの評価では効力が薄いかもしれない</li> <li>強制ではないが、予防接種を促す必要がある。特に寮生には義務付けても良いと思う</li> <li>校風検査がありながら頭髪に関して守る生徒がまだ少ない</li> <li>女生徒の髪結び方について校風で認められているのか不明なものがある(ハーフアップ)。共通理解が必要だと思う</li> <li>運動部の生徒で通学も運動靴の生徒が見られる</li> <li>授業中の身だしなみ(すそ上げ、シャツ出し)に対する各教員の粘り強い指導が求められる</li> <li>遅刻するメンバーが固定されている</li> <li>教員間による指導の違いと生徒間の意識の差がある</li> <li>総合的な学習を使って徳育を行ってはどうか</li> <li>交通マナーについて、HR での声かけ、学年等の集会での声かけは十分行われているが、状態は悪い。別の方法が必要だと思う</li> <li>校風を守ることでできない生徒が増加している。不十分な部活動もあるので、部活動での指導もほしい</li> <li>生徒は身だしなみを守っていると思うが、中には再検査に遅れて来る生徒もいる</li> <li>携帯を持ち込んでいる生徒が多いと思われる</li> <li>寒稽古でインフルエンザになったり、風邪を引いた生徒がいた。現代っ子のひ弱さには呆然とする</li> <li>校風検査でない時の服装の乱れ。日頃から徹底する必要がある。そのためには教員同士の指導の共通性が必要</li> <li>中学校 3 年前期で目安(基準)に達していない、後期になって相談・入学するケースがあるが、現実的にかなり厳しいケースになっている</li> </ul>	<p>A 25.0 % <b>B</b> 75.0 % C D</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>明誠生の身だしなみは概ね良好と感じます</li> <li>うがい、手洗い、咳エチケットをすることにより風邪、インフルエンザ等の感染をおさえていくことにつながると思います</li> <li>女性の所作を身に着けることは将来的にも役立ちますから乙女塾でのプログラムは継続していただきたい</li> <li>明誠での生活習慣のさらなる充実向上を期待します</li> <li>各々の先生方が指導基準をしっかりとお持ちでしょうか、再確認して共有したらどうですか</li> <li>身だしなみは崩れるのは早く、元の正常に戻すのはなかなか大変。早いうちに予防した方がいいと思う</li> <li>家庭での指導の問題もあると思いますが、先生方より明確な基準の提示(教員によって違わない)と普段の啓発指導をお願いします</li> <li>冷暖房が完備されているがゆえに感染防止指導が特に必要。マスクの着用や換気をこまめにするように指導をお願いします</li> </ul>



	部活動の充実	<p>①学習と部活動の両立を一層推進しつつ、生活面での指導も強化することにより、心身を錬磨し、自律的な精神と協調性を養う【部活動加入率 80%以上】</p> <p>②県大会や全国大会への出場及び各大会での上位進出を果たす【県大会出場～全ての部、全国大会出場～4部】</p>	<p>①○多くの生徒が部活動に加入している。</p> <p>○【部活動加入率約 81%】</p> <p>○各部のテスト前の集団学習が活発になってきた。</p> <p>○各部とも積極的な活動が行われ、対外活動だけでなく、服装、部室の美化等に大きな変化が出てきた。</p> <p>○試合の結果のみならず、各部活動を通じて人間形成にしっかりとした取組が出来るようになってきた。</p> <p>○部室点検を実施した。</p> <p>◇部室等の施設の徹底が不十分であった。</p> <p>②○野球部が甲子園初出場、陸上部、柔道部、棋道部、射撃同好会が全国大会に出場した。バスケットボール部が東海大会に出場した。図書研究会が高校生直木賞に参加、吹奏楽部等も県大会で活躍した。ほとんどの部が県大会に進出した。</p> <p>○【県大会出場～ほとんどの部、全国大会出場～5部】</p>	<p><b>A</b></p> <p>50.0%</p> <p>B</p> <p>40.0%</p> <p>C</p> <p>8.5%</p> <p>D</p> <p>1.5%</p> <p>・とても充実していると思う</p> <p>・どの生徒も積極的にやること、やりたいこと、やりがいを見つけて活動している</p> <p>・十分である</p> <p>・部活動の活発さが明誠の活気に繋がっていると思う</p> <p>・部活動時と教室での取り組み方の差があり、人間形成の難しさを感じる</p> <p>・部室の汚さが目立つ</p> <p>・規律に不十分な部分も存在している</p> <p>・部活動では頑張っていると思うが、授業等を疎かにしてはいけない</p> <p>・学校にいる時は守っているが、学校外での身だしなみは全く良くない</p> <p>・部活動について、学習との両立を教員が統一して取り組みたい</p> <p>・女子の部活動を充実させることが入学者の増加につながると思う</p> <p>・仕方のないことだが、生徒間での満足度や意識に差があり、何か諦めているような者も少なくない</p> <p>・授業態度の改善は今一步。寮生活もせつかくの部活生ならではの経験。対外的な結果だけで充実とは言えない</p> <p>・頑張っている部活動も多い。一方で、勉強になると私語が多かったり、持ち物を持ってこなかったり、姿勢・態度が悪い</p>	<p><b>A</b></p> <p>87.5%</p> <p>B</p> <p>12.5%</p> <p>C</p> <p>D</p> <p>・大変充実していて、頑張っていると思う</p> <p>・学校よりの配布物やHP、報道等で活躍を目にすることが多い</p> <p>・どの部活も活気があり、指導も行き届いていると思います</p> <p>・東海大会、全国大会につながる部活も多く、頼もしく感じています</p> <p>・部活動を一生懸命取り組むことも大切、隙間時間を利用して学習に取り組むことも大切であると感じます</p> <p>・部活動への取り組みは生徒の個々の希望進路によっても差があるものと思います。進路達成のための柔軟な対応を引き続きしていただけたらと思います</p> <p>・反省点を改善したらさらにレベルアップにつながりますね</p> <p>・部活動生徒の授業態度についてクラス担任と部活顧問とが協力して指導してほしい</p>
IV 広報・渉外活動の充実	効果的な広報活動による学校理解の促進	<p>①広報誌の発行、報道機関への周知等様々な手段を通して、本校教育に対する保護者や地域社会の理解を深める</p> <p>②ホームページ(HP)の更新を積極的に行い、効果的な情報発信を行い、併せてホームページのリニューアルを行う【年間訪問者(アクセス数) 30,000以上、直帰率 40%未満】</p> <p>③より本校理解が深まり、募集に効果的な内容にするために、広報誌等の見直しを行う</p> <p>④地域の自治会等への情報提供や学校行事への招待等を積極的に行い、学校理解の促進と広報の推進を図る</p>	<p>①○「明誠ニュース」「進路だより」保護者会広報誌「初心」など予定通り発行した。</p> <p>○日刊スポーツ社に委託して「学校紹介新聞(科・コース版・部活版)」を発行し、小中学生の募集活動に活用した。</p> <p>○野球部の甲子園出場等が大きくマスコミに取り上げられ周知が進んだ。</p> <p>○保護者会地区会へ出された質問や要望への回答を文書で配布した。</p> <p>②○HPの訪問者数が大幅に増えた。HPの更新を積極的に行い、内容の工夫も行った。</p> <p>◇HPをリニューアルし、内容を充実させた。</p> <p>○◇【リニューアル(2017年10月1日)の訪問者 47,141人、月平均 1,684 直帰率 39.3%】</p> <p>③○入学式、卒業式、文化祭、体育大会に自治会役員を招いた。</p>	<p>A</p> <p>40.0%</p> <p><b>B</b></p> <p>47.1%</p> <p>C</p> <p>4.3%</p> <p>D</p> <p>8.6%</p> <p>・広報はここ数年で万全となっている</p> <p>・HPの活用は良いことだと思う</p> <p>・HPは見やすくなったと思う</p> <p>・広報誌の発行は生徒募集につながる</p> <p>・学校訪問が生徒数増加につながっている</p> <p>・積極的な広報活動に自身も参加できたことは良かった</p> <p>・新聞社などと連携し、積極的である。保護者会の機会も多い</p> <p>・HPは見やすく綺麗である</p> <p>・広報誌も丁寧に作られている</p> <p>・外部に発信する情報ツールが増えたので、明誠に対する関心を高めることができています</p> <p>・部活動で学校を売り込むことも大切であると思う</p> <p>・全体的に守りの渉外を感じる。効果的な募集を行うためにも毎年改善すべき</p> <p>・渉外担当ばかりではなく、一般の教員一人ひとりが生徒を集める意識を持った方がいいと思う</p> <p>・地域自治会への働きかけをもう少し広げていってもよいのではないかと</p> <p>・明誠ニュースはこれから進学を考えている小・中学生に学校を知ってもらうために有効である。一方、卒業生への送付で学校へ返還される部数も多い。卒業生への送付、発行部数を検討する必要がある</p>	<p><b>A</b></p> <p>50.0%</p> <p><b>B</b></p> <p>50.0%</p> <p>C</p> <p>D</p> <p>・とても充実した活動であると思う。生徒一人ひとりが大切な渉外活動につながっています</p> <p>・明誠への関心が高まる一つの要因でしょう</p> <p>・昨年10月のHPリニューアルが広報活動に深みがでたと感じております。行事、スクールバスの運行予定等もお知らせしていることはアクセスしている人々にもよい印象を持ってもらえていると感じます</p> <p>・今夏発行の「進路だより」で、受験体験記を細部まで掲載していただいたことは、進路への取り組み方を考える良いきっかけとなったと感じています</p> <p>・今年度も地区懇談会での質問、要望に回答と説明、また改善されたところが文書で配布されました。学校理解につながると思います</p> <p>・地域の方々とのつながりを持つことは大切であり、続けて頂きたい</p> <p>・学校側からの広報は十分なされていると思います。あとは生徒や親のロコミや評判になると思います。明誠に興味がある人は必ず親に感想を求めますので</p> <p>・ロコミ。在校生やその保護者に明誠評価を求められることが多い。高い評価を得られるように</p> <p>・地元の方や卒業生・保護者が応援したくなるような仕掛けがほしい</p>

	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">積極的な渉外活動の実践</p>	<p>①小中学校への積極的な学校訪問等により募集の拡大を図る。併せて、入学者の増加に有効な方策を具体的かつ速やかに実施する</p> <p>②小笠・榛原・焼津・島田・藤枝の各地域の訪問重点校と訪問校を定め、組織的に募集活動を展開する</p> <p>③学習塾への訪問を行い、募集の拡大を図る</p> <p>④県外募集の充実を図り、有為な生徒の確保に努めるとともに入試内容・方法について見直す</p> <p>⑤「一日体験入学」「入試直前相談会」の充実、取り組みの強化を図る</p> <p>【学則定員の確保】</p>	<p>①②〇一日体験入学の参加者は生徒 1,555 人、保護者 732 人、合計 2,287 人と昨年度より約 100 人減少したが、今年度より実施した 1 週間後の説明会には生徒 141 人、保護者 99 人、合計 240 人の参加者があった。併せて学校説明会への参加者は 483 人（前年比 12%）増となった。</p> <p>○志太、榛原地区への中学校訪問を職員で分担し、3 年主任や進路指導主事と直接面談して募集拡大を図った。また、通学費補助の対象となる静岡、小笠地区では重点校を絞り募集活動を行った、さらに、学習塾への訪問を積極的に行った。</p> <p>各中学校が計画する進路学習会への参加依頼が 19 校（前年比 7 校増）あった。</p> <p>また、小笠地区の全中学校から本校への志願者（単願・併願）がいた。</p> <p>○高校入試の合格者数は、普通科が 948 人（単願 182）、英数科が 832 人（単願 110）、合計 1,780 人（単願 292）となり、昨年度より単願で 12 名増加した。併願者の戻り 45 名を含め入学者は 374 名となり、学測定委員 360 名を超えた。</p> <p>③◇福岡・札幌入試は、受験者は 106 人（昨年比 15 人減）であったが、単願合格者は 6 人であった。学習特待生の入学を増やすための方策を検討する必要がある。</p>	<p><b>A</b> 54.3 %</p> <p>B 34.3 %</p> <p>C 4.3 %</p> <p>D 7.1 %</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総務課の行き届いた配慮で安全・快適な環境になりつつある</li> <li>・教員全体で行う渉外活動のスタイルは教員個々のスキルを向上させるためにも良いことだと思う</li> <li>・多数の中学生を迎えることができた</li> <li>・職員による学校訪問はとても効果的である</li> <li>・魅力ある学校になっている証拠だと思う</li> <li>・十分です</li> <li>・多数の学校説明会を実施するなど、学校 PR を熱心に行っている</li> <li>・積極的に渉外活動が行われている</li> <li>・説明会を多く実施しているので、生徒・保護者は参加しやすい</li> <li>・教員全体が渉外に関する意識を持っている</li> <li>・地道な活動が大きな結果につながっている。中間評価のため評価しにくいですが、年間を通した募集活動が行われている。</li> <li>一日体験の申し込みで「葉書」は好評のようだ（中学校訪問、中学校現場の声）</li> <li>・職員による学校訪問の回数をこれ以上増やすと支障が出る可能性がある</li> <li>・地元からの入学者をもっと増やしたい</li> <li>・「一日体験入学」など募集関係の行事の運営についてはまだ改善できると思う（部活動の協力体制や安全面）</li> </ul>	<p><b>A</b> 100 %</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>D</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方の努力に大変感謝します。充実した活動がなされていると思う</li> <li>・募集のための渉外活動は私立ならではのですね</li> <li>・募集活動においては大勢の生徒が集まり、先生方の熱意と情熱の結果です。ご苦労がうかがわれます</li> <li>・6月にオープンキャンパスに足を運んだ際に多くの小学生が参加していました。学校教職員の方々の渉外活動の成果がでていと感じました</li> <li>・学校説明会の回数も増え、内容も充実してきていると感じます</li> <li>・渉外活動においてはかなり努力をされていると思います。個人的には藤枝明誠ニュースが駅やいろんな場所で手に取れたらいいな、と思っています</li> <li>・中高一貫のメリットをさらに生かした広報をしていただきたい</li> </ul>
--	--	--	--	--	---

<p>V 教育施設・設備の活用</p>	<p>安全で快適な教育環境の実現</p>	<p>①学習活動や部活動が安全かつ快適に実施できるよう常に配慮する          ②施設・設備のより有効な活用を図るとともに、机・椅子の整備等、教育環境の整備に努める  <b>【平成31年度高1生徒分の机・椅子一新】</b>          ③清掃状況を把握する巡視ではチェックシートを活用し学年主任や清掃担当と協力して清掃指導の徹底を図る          ④破損箇所の把握と迅速な修繕を図る  <b>【6月・11月・2月の一斉点検実施】</b>          ⑤電気、紙等の節約を励行し、経費と資源の有効活用を心がける          ⑥消灯、戸締まりの徹底を図る          ⑦地震発生時の避難や防災に関する訓練・学習会を実施し、生徒の安全を確保する          ⑧原子力災害に対する避難計画を作成する</p>	<p>①○毎火曜日早朝に理事長点検を実施し施設の安全を確保した。          ○◇清掃活動に力を入れた。改善された点と不十分な点の両面が見られた。          ◇校舎施設について色々な方策を行ったが徹底しなかった。          ②○剣道部の床の修繕を実施した。◇机、椅子、黒板等の劣化が見られる。継続的な更新が必要である。          ③◇消灯、空調のスイッチオフ等の節電や紙の節約などはまだ十分とは言えない。          ④○5月に防災避難訓練、8月に防災学習を実施し、防災意識を高めた。          ○防災マニュアルを常時活用できるように生徒手帳に添付にした。          ⑤◇原子力災害に対する避難計画は未作成であった。(藤枝市の指針が未発表のため)</p>	<p>A 21.4 % <b>B</b> 55.7 % C 18.6 % D 4.3 %</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室管理の意識は向上している</li> <li>・「明誠ダイアリー」は大事な資料を活用しやすくなり、「生徒手帳」より良かったと思う</li> <li>・部活動の設備はよい</li> <li>・火曜日（巡回指導日）は教室管理を特に強く意識している</li> <li>・よく清掃巡回がなされている</li> <li>・消灯・戸締まりの徹底が行われている</li> <li>・机・椅子、黒板等教室内の授業に関わるものの質が悪い。チョークもポキポキ折れる。質の良いチョークならば、折れることもなく、逆に費用も安くなるのではないか</li> <li>・トイレ清掃を徹底させたい</li> <li>・備品の破損が目立つ</li> <li>・点検が行われている箇所とそうでない箇所での差がある</li> <li>・外の清掃生徒が雨の日に関係のない場所でふらついているところを注意したことがある</li> <li>・面談ができるような相談室のスペースが必要</li> <li>・一部の先生だけが意識が高い。また、生徒に伝わりきっていないことがあり、改善したい</li> <li>・今に時代において安全面の保障は大切である。防災学習等について学校全体で共有することがあると思う</li> <li>・長机、パイプ椅子等が古く、壊れているため新しくしたい</li> <li>・校舎施設（トレーニングルーム等）が徹底できないことが多かった</li> <li>・清掃は開始時から教員が監督としてついているのが理想。打合せが長引いて、時間的に半分以上遅くなることがよくあり、課題だと思う</li> <li>・窓枠のアルミサッシは交換できないのか。強い風雨で室内に水が漏れるようならアルミサッシの意味がない</li> <li>・教員の喫煙マナーの意識が低すぎると感じている。生徒の安全・快適には程遠く、風向きによっては職員室前や2階に上がる階段にも煙を感じる。受動喫煙が問題になっている時にこんなにマナーが悪くていいのか。確か以前、副校長より休み時間には吸わないよという話があったと思うが、教員が守ろうとしないようで、生徒に指導ができるのか、考えるべきだと思う</li> <li>・照明機器の不具合が多いことが気になる</li> <li>・清掃指導が徹底されていないように感じる</li> <li>・破損箇所修繕の申請をしてもなかなか修繕されないことがある</li> <li>・風雨が強いと雑巾をはさんでも水がしみ出してしまう。修繕の対応が後手に回っていると思う</li> <li>・キレイにできる所は清掃時間に行っているが、細かいところまでチェックすることができなかった</li> <li>・清掃・美化に対する職員の意識に差がある。清掃指導は本校の教育の柱の一つである。学園理解の欠如ともとれる。</li> </ul>	<p>A <b>B</b> 100 % C D</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適宜修繕していただいていると感じます。経営のバランス等様々な課題をクリアしながら、考えていかなければならないと思います</li> <li>・自然災害の発生が多いため、防災避難訓練、防災学習の実施で生徒の防災に対する意識を高めたことは良かったと感じます。家庭での対応も地区懇談会での質問、要望に回答されていたので個々の家庭で話題にすることも大切だと思います。</li> <li>・多くの細かい課題があるようですが、少しずつ改善されるよう期待します。素晴らしい環境を全員の手でさらに磨きをかけてピカピカにしてほしい</li> <li>・雨漏り、危険箇所、道具等は早急に修繕なりの対応が必要</li> <li>・安全な教育環境の実現に向けて元氣長っていただきたい</li> <li>・高層階の校舎なので火災や地震に対する防災グッズなど目につくところにあったら安心です</li> </ul>
-------------------------	----------------------	--	---	--	---